



白馬童子

糸魚川市立糸魚川小学校
学校だより 第6号
令和元年9月25日

回覧

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp
(HP)<http://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>

よい大人になる子を育てる

校長 山本 修

4月に行われた全国学力学習状況調査（全国の小学6年生と中学3年生が対象。国語・算数）のテスト及び質問紙による調査の結果が先月末に文部科学省から送られてきました。

当校の結果は、全国の正答率と比べると、国語は全国平均を上回り、算数は僅かながら下回るというものでした。

結果を詳しく見ると、国語では「漢字を正しく使う」ことができていませんでした。

また、算数では、「問題文が長い文章問題」がよくできていない、「考えを説明する力」が弱いという課題が明らかになりました。

そこで、2学期から以下の取組を行います。

① 陰山メソッドの徹底

漢字前倒し学習を一層進めます。
(熟語テスト、辞書を使った学習)

② 初読の文章の読み取り

キーワードに着目したり、図に表したりすることを授業で工夫して取り組みます。

③ 自分の考えを説明する活動

考えの根拠を明らかにし、順序立てて説明する力を育てる活動を授業で工夫して取り組みます。



2年国語 友達に自分の考えを発表

学校は、勉強するところです。社会に出て困らないように勉強するところです。そして、よりよい社会をつくるため、これからの社会で役に立つ大人になるために勉強するところです。よい大人になる子を育てるところです。よい大人になるために必要な学力を定着させるのは、学校の使命です。

以下は、4月の1回目の職員会議で職員に紹介した文章です。学ぶ意義を常に問いながら、教育活動を進めていきます。

学校はよい子を育てているのではありません。よい大人になる子を育てているのです。よい大人とはどう大人かといえば、自分の能力をしっかりと伸ばして働き、社会で役に立つ大人です。それこそが持続可能な社会をつくるのです。

『特別活動でみんなと創る楽しい学校』P.188

清水弘美・著 小学館